

令和元年度第2回施設視察会開催報告

開催日時：令和2年2月18日（火）

視察施設：中田食品(株)梅調味液バイオガス発電所(和歌山県西牟婁郡上富田町)
中田食品(株)本社工場(和歌山県田辺市)

参加人数：19名

内 容：

令和元年度第2回施設視察会は、和歌山県の中田食品(株)梅調味液バイオガス発電所(西牟婁郡上富田町)及び本社工場(和歌山県田辺市)を視察した。

中田食品(株)は梅干・梅酒の製造会社であるが、梅干を加工した際に出る調味廃液はこれまで産業廃棄物として処理していた。しかしながら処理コストが増大しており、環境への負荷の低減と地球温暖化防止に貢献することを目的として、調味廃液を効率的に処理し、また発生するメタンガスを利用して発電も行える施設を建設し、稼働している。

処理量は地域の同業他社も含めて、年間受入可能量は7,000m³(最大20m³/日)であり、梅調味液を苛性ソーダで中和し、グラニューール形成菌によるバイオインパクト反応槽で嫌気性処理を行い、メタンガスを取り出し発電する。FIT制度を利用するとともに、食品リサイクル法(農林水産省)に準じた食品廃棄物の活用と位置付けられている事業である。

